

◆ 会員団体紹介—崇城大学

崇城大学では、グローバル人材の育成に注力しています。本学の国際交流センターで多種多様な研修を企画したところ、ここ数年は、毎年200名を超える学生が研修で海外に出かけています。同時に、年間約100名以上の外国人留学生を受け入れています。

その結果として海外の大学との交流もますます盛んになり、2016年11月には、熊本県・市と友好関係にある台湾高雄市の「高苑科技大學」と大学間協定を締結し、毎年お互いの学生が訪問し合い交流

を深めています。また、熊本県が友好協定を結ぶインドネシア・バリ州にある「国立ウダヤナ大学」と本学は、2018年2月に大学間交流覚書を交わしました。同時期に本学学生は外務省が支援するJENESYSプログラム2017でウダヤナ大学を訪問し、活発な学生交流によって相互理解を深めました。

2016年11月インドネシア・バドミントン協会・選手団の来熊に伴い、インドネシアからの留学生3名が通訳として協力したことで、滞在中の諸行事が順調に進みました。これを機に、2020東京オリンピック・パラリンピックにおける熊本へのインドネシアバドミントンチームの事前キャンプ誘致に成功したと聞いています。本学留学生が熊本県における国際交流の一翼を担えたことを誇りに思います。

2017年12月に東京で開催された「第6回全国学生英語プレゼンテーションコンテスト」では、ベトナムからの留学生と日本人学生による3名の混合チームが出場し、全国総勢641名のエントリーの中から、最優秀賞である文部科学大臣賞を見事獲得しました。今回の受賞は、本学の英語教育と起業家育成教育の相乗効果が英語表現力に活かされた結果であり、着実にグローバル人材が育っていることを証明しました。

本学のこのような国際交流の取り組みによって、熊本でも世界でも幅広く活躍できるグローバル人材が育ち、地方創生がさらに進むことを期待します。



熊本県・文徳学園・熊本日豪協会・崇城大学共催
オーストラリア訪問団歓迎会

崇城大学国際交流センター



オーストラリア訪問団メンバーとくまモン



留学生との交流サークルでのランチ会の様子